

# 空間情報地域フォーラム2011

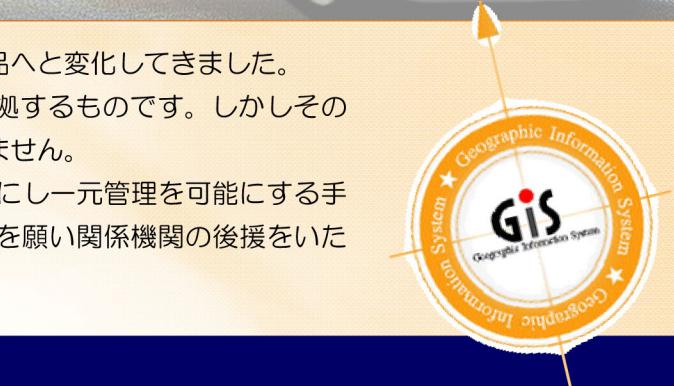
## ～これからの地理情報システムのあり方～

公共事業で生成される成果品は紙を主体とした形態から電子成果品へと変化してきました。国の施策により成果品の2次利用を目的とした「CALS/EC」に準拠するものです。しかしその成果品を始め従来型で作成された図書は高効率的な利用ができていません。

行政事務の更なる効率化のためにあらゆる図書作成の手法を明確にし一元管理を可能にする手段として「空間情報地域フォーラム2011」を見聞いただけることを願い関係機関の後援をいただき実施することになりました。

### 開催概要

- ◆主催：北海道G I S技術研究会
- ◆共催：NPO法人全国G I S技術研究会
- ◆後援：国土交通省国土地理院北海道地方測量部  
小樽市  
一般社団法人北海道測量設計業協会  
札樽地区測量設計協会  
後志測量設計協会
- ◆参加対象：官庁・自治体職員 測量業者 他関係団体
- ◆日時：平成23年10月28日(金)  
13:00~16:30 12:30より受付
- ◆会場：小樽市民センター・マリンホール  
小樽市色内2丁目13番5号  
TEL0134-25-9900



### フォーラムスケジュール

時間	内容	
13:00~	開会挨拶	北海道G I S技術研究会 会長 石田 廣幸
13:05~	来賓御挨拶・講話「国土地理院の取り組みについて」	国土交通省国土地理院北海道地方測量部 様
13:35~	「G I Sの発展過程分析と今後の展望」 - 2つの地方自治体を事例として -	小樽商科大学商学部社会情報学科 准教授 深田 秀実 様
14:20~	休憩	
14:30~	「オープンソースソフトによる地理空間情報の活用」	小樽市 戸籍住民課 係長 渡邊 徹 様
15:00~	「自治体G I Sの活用・導入の新たなアプローチ」 - 情報システム構築の最新トレンドと地理空間情報 -	北海道G I S技術研究会 (HRS株式会社 PM 時永 洋一)
15:25~	「要援護者情報提供支援システム（ふれあい・ネット）」	株式会社三洋コンサルタント
15:50~	「モバイルマッピングシステムの活用」	株式会社サテライトブリッジ
16:15~	質疑応答	
16:25~	閉会挨拶	北海道G I S技術研究会 理事 鈴木 哲夫

北海道G I S技術研究会事務局

北海道岩見沢市7条東5丁目5 株式会社本山測量設計内 TEL 0126-22-4007 FAX 0126-22-3035



# SATELLITE BRIDGE



走る測量機  
走行するだけで道路周辺の  
地理空間データを取得

- ・複数センサー情報を位置情報と連動
- ・高精度GNSS（GPS+GLONASS）により絶対位置を高精度に決定
- ・スキャナーで道路周辺の3D形状情報を取得
- ・360° カメラ全方位走行連続画像を取得
- ・IMU（慣性計測装置）によりGNSSが測位しづらい場所でも計測可能



観測

観測データ

後処理解析

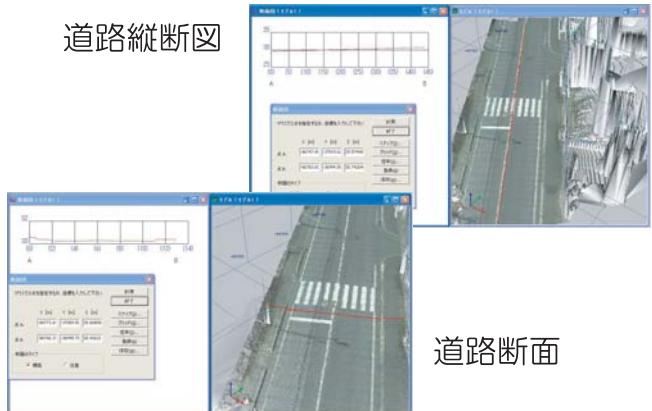
活用分野



効率よく取得できる3D点群データは様々な分野で活躍します。

簡易測量・設計データ

道路縦断図



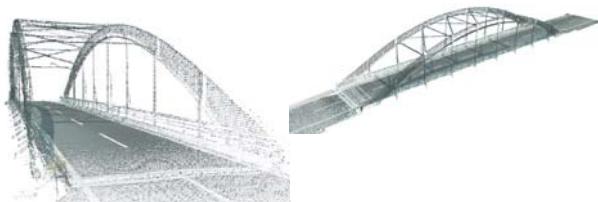
道路断面



トンネル内調査



道路調査・路面調査等



**SATELLITE BRIDGE**

株式会社 サテライト・ブリッジ

〒068-0007

北海道岩見沢市7条東5丁目5番地

TEL : (0126) 22-4007

FAX : (0126) 22-3035

mail:satbrg@motoyama-s.com